

令和4年度「ベストプラクティス企業」職場訪問

～ 鶴信運輸株式会社の取組について～

目的・要旨

厚生労働省では、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」とし、長時間労働が懸念される事業場に対する重点監督、過重労働解消に向けた気運の醸成のため種々の啓発活動を実施しています。

この期間中の取組の一つとして、長時間労働削減に向けた積極的取組を行っている企業を広く地域に紹介し、他の企業においても参考としていただきたいとの趣旨で実施しました。

今年で7回目となるベストプラクティス企業訪問は、岡山労働局長(成毛 節)と岡山運輸支局長(出口 敦)が合同で、労働時間削減に積極的取組を行っている運送会社を訪問しました。

訪問日 令和4年11月21日(月)

訪問企業 鶴信運輸株式会社

本社所在地 岡山市中区倉富394番地
代表者 代表取締役会長 岩木 信之取
取締役社長 陰地 智行
創業 1992(平成4)年 7月
資本金 1500万円
従業員数 123名
業務内容 一般貨物自動車運送事業等



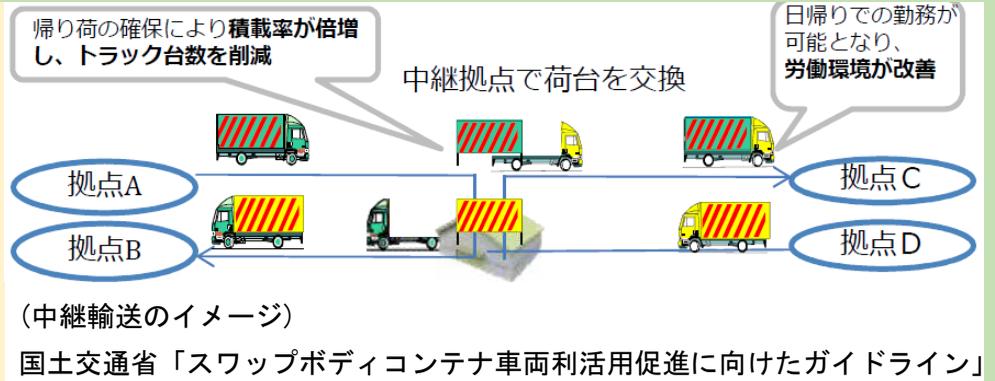
取り組み内容 「ドライバーを大切にし、長く勤められる会社となるよう安全で働きやすい職場の環境づくりを心がけております」

- ① 労働時間の削減の取組
 - ・スワップボディ車両の導入により、中継輸送を実施。労働時間短縮に効果。
- ② 年次有給休暇の取得促進(R3年度 52%)
 - ・年休取得の声掛けにより、取得しやすい雰囲気醸成。
- ③ 働きやすい職場環境づくり
 - ・休憩室に、高濃度酸素カプセル・健康器具等を設置。
 - ・国土交通省により創設された「働きやすい職場認証制度」を取得。
 - ・女性ドライバーが安心して働けるよう、女性トイレを増設。



Q スワップボディ車両の導入したことで、労務管理の面でどのような効果がありましたか？

A 車体と荷台が分離できるため、トラックが到着する前から荷役が始められます。



また、トラック到着後は、荷台を取り換えるだけで出発できるため、手待ち時間の削減に効果がありました。

さらに、長距離輸送から中継輸送への転換を進めており、日帰りでの運行が可能になることから、ドライバーの労務環境の更なる改善を見込んでいます。



Q 取り組んでいく上で、課題はありますか？

A スワップボディ車両は、購入して導入までリードタイムがあるので、対応には時間がかかります。

また、車両の導入コストが大きいことも経営上の課題としてあります。

Q 時間外労働の上限規制について、どのように考えていますか？

A 長時間労働の削減は、対応すべき重要な課題であると認識しています。

また、ドライバーの確保なしには、対応できないので、働き方改革にしっかり取り組んでいきます。



Q 人手不足の中、工夫されている点はありますか？

A 従業員の定着という点では、「従業員同士の仲が良い」ということも大事だと考えて、従業員のコミュニケーションの場として、休憩室の整備などに力を入れています。

令和6年度「ベストプラクティス企業」訪問・意見交換 ～ 藤森運輸株式会社の取組について～

目的・要旨

厚生労働省では、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」と定め、過重労働解消に向けた気運醸成のため、岡山労働局・各労働基準監督署で周知・啓発の取組などを実施しています。

岡山労働局では、この月間の一環として実施している「過重労働解消キャンペーン」の取組の一つとして、2024年4月からの時間外労働の上限規制等の適用開始を受けて、運送業において働きやすい職場づくりや長時間労働削減に積極的に取り組んでいる「ベストプラクティス企業」を訪問し意見交換を行い、こうした企業を広く地域に紹介して、他の企業においても参考にしていただきたいとの趣旨で実施しました。

今年で9回目となるベストプラクティス企業訪問・意見交換は、岡山労働局長（森實 久美子）と岡山運輸支局長（今岡 俊之）が合同で、働きやすい職場づくりなどに積極的に取り組んでいる藤森運輸株式会社新見営業所を訪問し意見交換を行いました。

本社所在地 岡山県倉敷市児島田の口7-6-19
代表者 代表取締役 藤森 元則
役員 専務取締役 藤森 津富
常務取締役 藤森 大輔
創業 昭和33年(1958年)11月
資本金 2,000万円
従業員数 90名(男性80名、女性10名)
(うち、トラックドライバー54名)
業務内容 一般貨物自動車運送事業等

訪問日 令和6年11月25日(月)
訪問企業 藤森運輸株式会社 新見営業所
(所在地：岡山県新見市西方2774-15)



取組内容 「他の運送会社と協力して実施する『中継輸送』による労働環境の改善と健康増進の取組」

他の運送会社（株）水谷運輸倉庫、本社：三重県四日市市）と協力し、長距離・長時間の輸送（三重県 広島県）を、中継拠点（新見営業所）においてトラックはそのまま、相互のドライバーが交替する「中継輸送」とすることで、車中泊を伴う長距離の運行から日帰り運行が可能になった。

日帰り運行への業務見直しなど労働環境の改善により、人材確保や定着につながった。腰痛予防体操の実施や歯の健康のため歯ブラシの支給を行うなど、健康経営を推進し、その取組が優良であるとして、健康経営優良法人2024に認定。



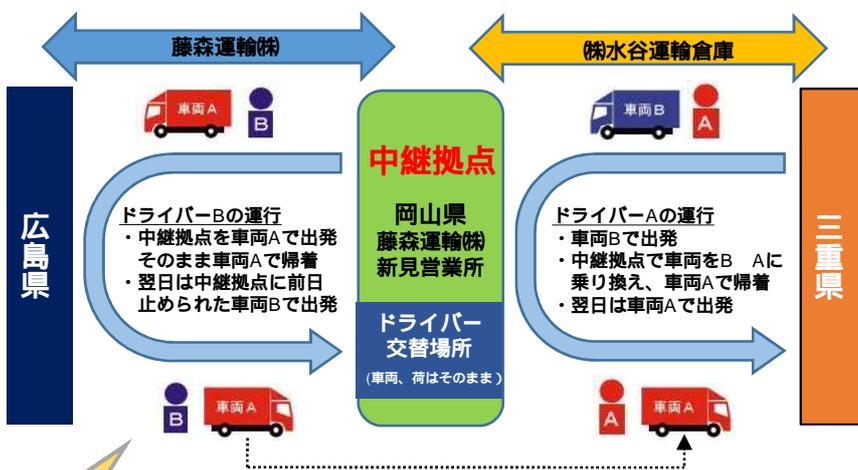
Q 中継輸送に取り組むようになった時期やきっかけは？

A 2013年(平成25年)頃、取引のあった(株)水谷運輸倉庫さんと協力して始めました。

ドライバーの長時間労働の問題はそれ以前からあり、何とか改善したいと考えていた中で、両社の取組への思いが一致したことです。

また、中継輸送の実績を糧に他社に提案していくなど地域企業に貢献できればとも考えています。

両社のドライバーが日帰り運行となり、労働環境が改善



中継輸送のイメージ図

(中継拠点でドライバーが車両を乗り換え)

Q 中継輸送に取り組むことによるメリットは何でしょうか？

また、課題や苦勞している点はありませんか？

A メリットは車中泊を伴う長距離運行が日帰り運行となり、毎日自宅に帰れることです。健康面に良いですし、労働時間も削減でき、人材の確保や定着にもつながります。

苦勞する点は、会社間の車両、運行管理等の違いのすり合わせや保険適用の整理などがあります。複数の会社やドライバーが関わるため、輸送品質の維持にも気を配っています。他社のトラックを運転するため、ドライバーにかかるストレスを軽減する配慮も必要です。



Q 働きやすい職場づくりで、その他に取り組まれていることはありますか？



A 安心安全な運行や業務のためには、従業員が健康で働ける職場環境の整備が重要と考え、健康経営に取り組み、健康経営優良法人2024に認定されています。

腰痛予防体操の実施や歯の健康のため歯ブラシの支給などを行い、従業員が健康で長く働ける職場を目指しています。



Q 人手不足と言われる中、工夫されている点はありませんか？

A 荷役作業では、手積みの場合はパレット積みに変更してもらい、フォークリフトで作業を行っています。また、荷台からの飛降り防止のため、アルミの昇降台を使用し、効率的で、かつ、災害防止にもつながっています。

藤森運輸(株)

歯の健康は、全身の健康！

皆様は、「歯の健康」と「全身の健康」が密接に関係していることはご存知でしょうか。歯周病は糖尿病と密接な関係にあり歯周病の治療で糖尿病の数値が改善するなど学会でも効果が認められています。

